

# 利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所  
 発行人 竹之内 篤  
 〒 378-0031 沼田市薄根町 4412 番地  
 TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180  
 E-mail : tonekyou@pref.gunma.lg.jp

## 『新型コロナウイルス感染症の対応について』 利根教育事務所 管理主監 富田 孝

学校における保健活動は、子どもたちの心身の健康的な発達を目的とした重要な活動です。各学校では、子どもたちに対する日常的な健康観察や健康相談、疾病・感染症の予防、救急処置等、様々な観点から子どもたちの心身の健康を確保していただいているところです。

今年に入ってから心配されていた新型コロナウイルス感染症の拡大ですが、日本で初めての感染が確認されてから日増しに深刻化し、2月末には日本での感染者数が千人に迫る事態になりました。この事態を受けて、政府より小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等に対して臨時休業の要請があり、利根沼田管内の小中学校でも3月2日（月）より、5市町村一斉に臨時休業の対応が取られているところです。

各学校では、市町村教育委員会の指導の下、子どもたちが長期にわたって家庭生活を送ることに對し、感染予防の観点から、外出を控えることや手洗い・うがいの励行、マスクの着用等、きめ細かな指導を進めています。また、生活や学習等への不安解消のために、必要に応じて家庭訪問や電話連絡をする等、子どもたちや保護者の気持ちに寄り添った丁寧な対応を取っていただいています。

そのような中、緊急的な休校措置により各学年の学習内容が指導しきれていないことが、大きな課題として挙げられています。文部科学省からの通知では、「児童生徒の学習に著しい遅れが生じることのないよう、必要に応じて、次年度に補充のための授業として前学年分の未指導分の授業を行うことも考えられる」と示されています。臨時休業中の家庭学習への支援とあわせて、例えば、各学校ごとに「学年・学級、教科ごとに補充が必要な内容等」をシートにまとめたり、補充学習が必要な箇所を年間指導計画に記載したりするなど、新年度に子どもたちを担当する先生方に、必要な指導内容が確実に引き継がれるよう準備をお願いします。

今回の新型コロナウイルス感染症に対しては、過去に例を見ないほどの対応を要する事態となりました。各学校で様々な対応にご苦勞なされている教職員の皆様に深く感謝申し上げますとともに、1日も早く、明るく・元気に学校生活を送る日々が、子どもたちに戻ってくることを願ってやみません。

## 「SOSの出し方に関する教育」の計画的な実施を!

各学校においては、「SOSの出し方に関する教育」を、各教科等における指導の一環として、少なくとも年1回は実施することが求められています。「SOSの出し方に関する教育」プログラムの活用をはじめ、下記の学級活動や保健の内容などにも「SOSの出し方に関する教育」に関連するものが含まれていますので、これまでの取組を生かしながら意図的な指導ができるよう、計画づくりをお願いします。

### 「SOSの出し方に関する教育」と学習指導要領の指導内容との関連



#### 小学校

##### 学級活動

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
  - ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- 体育**
- 第5学年及び第6学年
  - G 保健(1)
  - ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。
  - (9) 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。

#### 中学校

##### 学級活動

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
  - ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
- 保健体育**
- [保健分野] 第1学年(2)
  - ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。
  - (4) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。

#### 学級活動の例

悩みや不安をもつ子どもの状況を設定し、自分だったらどう相談するか、また、相談されたらどう対処するかを考え、意見交流する中で、自分だったらこう対応するという意思決定をするような授業も考えられます。

**学校教育係 2020年度（令和2年度）の教育課程の編成に向けて**

中学校では、来年度が移行措置の最終年度です。移行措置についてまとめましたので、各項目について確認し、準備をお願いします。

各主任を中心に  
計画的に準備しましょう。



**中学校**

<b>国語</b>	<p>○1学年と2学年：都道府県名に用いる漢字20字を追加して指導する。 【都道府県名に用いる漢字の読みと書き】 (茨、媛、岡、潟、岐、熊、香、佐、埼、崎、滋、鹿、縄、井、沖、枋、奈、梨、阪、卓)</p> <p>○1学年：「共通語と方言の果たす役割について理解すること」を加えて指導する。</p>
<b>社会</b>	<p>①授業時数配当の見直し：1学年より、現行学習指導要領において地理的分野を1・2学年あわせて120単位時間、歴史的分野を1・2学年あわせて90単位時間、3学年の最初に40単位時間の計130単位時間履修としているところを、地理的分野を5単位時間減の115単位時間に、歴史的分野を5単位時間増の135単位時間（1・2学年95単位時間、3学年40単位時間）となるように授業時数を配当する。</p> <p>②「世界の諸地域」（地理的分野）の指導に当たり、「世界の様々な地域の調査」を併せて指導する。</p> <p>③「世界の古代文明（ギリシャ・ローマの政治制度）」、「ユーラシアの変化（モンゴル帝国による東西交流）」、「ヨーロッパ人来航の背景（ムスリム商人との関連）」、「市民革命（アメリカ独立・フランス革命）」（歴史的分野）の指導に当たっての内容の取扱いについて、新学習指導要領の規定による。</p> <p>④1～3学年：「領域の範囲や変化とその特色」（地理的分野）、「富国強兵・殖産興業政策」（歴史的分野）、「世界平和と人類の福祉の増大」（公民的分野）の指導に当たっての内容の取扱いについて、新学習指導要領の規定による。</p>
<b>数学</b>	<p>○1学年：「数と式」に「素数の積」、「資料の活用」に「累積度数」「統計的確率」を追加。「資料の活用」の「誤差や近似値、<math>a \times 10^n</math>の形の表現」を省略。【3学年で指導】</p> <p>○2学年：「資料の活用」に「四分位範囲」「箱ひげ図」を追加。</p>
<b>理科</b>	<p>○1学年：「力の働き」に「2力のつり合い」、「植物の生活と種類」に「動物の仲間」、「火山と地震」に「自然の恵みと火山災害・地震災害」を追加。「圧力」を省略。【2学年、3学年で指導】</p> <p>「葉・茎・根のつくりと働き」を省略。【2学年で指導】</p> <p>○2学年：「静電気と電流」に「放射線の性質と利用」、「日本の気象」に「自然の恵みと気象災害」を追加。「生物の変遷と変化」を省略。【3学年で指導】</p>
<b>保健体育</b>	<p>○1学年：体育分野「運動やスポーツの楽しみ方」を追加。体育分野「運動やスポーツの学び方」を省略。【2学年で指導】</p> <p>保健分野「主体と環境」「調和のとれた生活」を追加。</p> <p>○2学年：保健分野「生活習慣病」「薬物乱用など」を追加。</p>

数学と理科は、配布済みの補助教材を利用し、追加して指導する内容に対応してください。

英語は、文部科学省の「中学校外国語科の移行期間における指導資料」(HPよりダウンロード可)や「生徒用補助教材Bridge」を計画的に活用してください。



**はばたく群馬の指導プランⅡを参考にした実践事例を活用しましょう！**

はばたく群馬の指導プランⅡを参考に、県内各地で実践された事例が、群馬県総合教育センターのWebページに掲載されています。

群馬県総合教育センター はばたく群馬の指導プラン

検索

指導案等を参考に充実した授業づくりを！

**令和2年度スタート！「キャリア・パスポート（仮称）」を活用した指導**

「キャリア・パスポート」は、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、子ども自らが気付いたことや考えたことを記録し蓄積するポートフォリオ的な教材です。自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につながることを目的です。子どもの記録に対して、大人が対話的に関わることで、自己有用感の醸成や自己変容の自覚に結び付けていくことが大切です。来年度からすべての小・中・高等学校において実施となりますので、学校全体で共通理解を図り、効果的な活用に向けた準備をお願いします。

※参考：文部科学省事務連絡（平成31年3月29日付）及び『「キャリア・パスポート」の様式例と指導上の留意事項』